

「各分野で取り組む施策」と「SDGsの17ゴール」との関係

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指した世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられ、2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

「令和7年度奈良県政策集」に盛り込んだ「各分野で取り組む施策」と「SDGsの17のゴール」との関係は以下のとおりです。奈良県では、これらの施策を推進することでSDGs達成につなげていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



I 県民や事業者の安心と暮らしへの責任

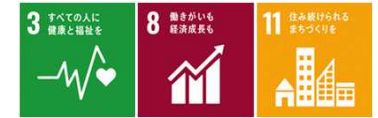
1. 安全・安心の確保



2. 福祉の充実



3. 医療の充実



II 奈良県の子ども、若者の未来への責任

4. こども・子育て支援の充実、女性活躍の推進



5. 教育の充実



III 豊かで活力ある奈良県を創る責任

6. 脱炭素社会の実現



7. 工業・商業の振興



8. 観光の振興



9. 食と農の振興



10. 林業の振興



11. 文化の振興



12. スポーツの振興



13. 南部東部地域の振興



IV 3つの責任をしっかりと果たすために

14. 県発展のための基盤整備



15. まちづくりの推進



16. 広域での連携



17. 県庁の働き方・職場環境改革の推進



18. 徹底した行財政改革



マネジメントサイクルの推進



PDCAサイクルにより、奈良県発展のための政策を実現します。